

平成 2 8 年 第 1 3 回  
仙 北 市 教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録  
平 成 2 8 年 1 1 月 2 1 日

仙 北 市 教 育 委 員 会

平成28年第13回仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 平成28年 11月21日(月) 午後1時～

2 場 所 角館庁舎西側庁舎2階 第3会議室

3 出席委員

委員長	安部 哲男
委員長職務代理者	河原田 修
委員	坂本 佐穂
教育長	熊谷 徹

4 出席した事務局職員

教育部長	畠山 靖
教育次長兼教育総務課長	田口 和典
教育次長兼スポーツ振興課長	高橋 和宏
教育総務課参事	能美 正俊
教育総務課参事兼田沢湖学校給食センター所長	伊藤 静子
教育総務課参事兼角館学校給食センター所長	千葉 幸仁
教育総務課参事兼西木学校給食センター所長	芳賀満希子
生涯学習課長	黒澤久美子
角館公民館長	草薨 正勝
西木公民館長	山田 且也
生涯学習課参事兼田沢湖図書館長	松田 修子
生涯学習課参事兼学習資料館・イベント交流館長	富木 弘一
文化財課長兼平福記念美術館長	鈴木 孝昭

5 議事

(1) 議案審議

議案第20号 平成28年度仙北市一般会計補正予算の教育費について

議案第21号 公の施設の指定管理者の指定について(仙北市勤労青少年ホーム・仙北市外ノ山テニスコート)

議案第22号 公の施設の指定管理者の指定について(仙北市角館交流センター)

(2) 報告事項

報告第44号 仙北市教育行政報告について

報告第45号 区域外就学の同意について

(3) 仙北市教育委員会委員長の選挙について

(4) 仙北市教育委員会委員長職務代理者の指定について

## 6 審議の経過及び結果

(安部委員長)

ただ今から平成28年第13回仙北市教育委員会11月定例会を開催いたします。

次第により会議を進めさせていただきます。書記には朝水参事、栗原主査を任命いたします。議事録署名は、河原田職務代理者と熊谷教育長をお願いいたします。前回会議録の承認については、会議終了後をお願いいたします。

次に、私から挨拶をさせていただきます。今月も各分野において、さまざまな顕著な活動を頑張っていたいております。東北森林管理局長賞を神代小学校で受賞しました。それから、MOA美術館奨励賞、その他いろいろな数々の受賞おめでとうございます。先日、11月11日に角館小学校文科省公開研究会が行われ、その取組の先進性について、高い評価をいただいております。調査官の安部先生が、私が帰る時にわざわざ玄関まで送りに来てくれて、その時の挨拶で、角館に来ると元気がもらえるのが何よりですと言っていました。この一言で、私たちの町にそのような多くの人に元気を与え、人を癒す空間のようなものがあるということを知って、さまざまな分野でそういったものを活用していけばいいなと思ったところであります。美術館、公民館、図書館、市民会館、学習資料館等では、秋のイベントがさまざま行われております。たくさんの市民が興味をもって参加してくださると思いますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。それでは、教育長の報告をお願いします。

(熊谷教育長)

それでは、11月の教育委員会定例会の事務報告をさせていただきます。

—資料により報告—

(安部委員長)

ただいまの教育長の事務報告に質問はありませんか。

—質問なし—

では、承認いたします。

続いて議事に入ります。

議案第20号、平成28年度仙北市一般会計補正予算の教育費について説明をお願いします。

(田口教育次長兼教育総務課長)

平成28年度12月補正予算の教育総務課、教育指導係について概要をご説明いたします。

—資料により説明—

(松田田沢湖図書館長)

市民会館の補正予算について、館長が欠席ですので代わってご説明いたします。

—資料により説明—

(高橋教育次長兼スポーツ振興課長)

スポーツ振興課の補正予算についてご説明いたします。

—資料により説明—

(鈴木文化財課長)

文化財課の補正予算についてご説明いたします。

—資料により説明—

(安部委員長)

議案第20号についての説明がありました。質問、意見はありませんか。

(河原田職務代理者)

小中学校スキー教室リフト代補助金についてですが、全生徒に対して一律ですか。  
(田口教育次長兼教育総務課長)

全ての児童・生徒を対象にしてございます。小学生は1日600円、中学生は930円で教員以外の保護者の指導者の分も含まれてございます。

(安部委員長)

そうすると、全小中学校がスキー教室を行うということですか。

(田口教育次長兼教育総務課長)

現在計画している学校全てに支給するというところでございます。

(安部委員長)

全部やっているわけではないのですね。

(田口教育次長兼教育総務課長)

やっていない学校が中学校で2校ございます。

(安部委員長)

分かりました。私から質問ですけれども、スポーツ振興課のスポーツクラブ事業実施補助金の減額は、具体的にはどういうことですか。

(高橋教育次長兼スポーツ振興課長)

桜木内については、助成事業に対してクラブマネージャーを置かなければならないという規定があるのですが、これを置かなければ自立支援もクラブマネージャー助成事業もどちらも成り立たないということで、取下げというかたちになりました。神代については、実際申請を行っておりますが、それを精査された段階で、今回決定通知が来ました。それによって、この事業がうまくないとか細かいところを詰めたところで、それに合わせて減額となりました。

(安部委員長)

分かりました。ほかにないですか。

—質問なし—

それでは、議案第20号は承認することといたします。

次に、議案第21号、公の施設の指定管理者の指定について（仙北市勤労青少年ホーム・仙北市外ノ山テニスコート）第22号、（仙北市角館交流センター）について説明を求めます。

(黒澤生涯学習課長)

議案第21号と22号、公の施設の指定管理者の指定についてご説明いたします。平成28年度末で指定管理の期間の終了する施設についてでございます。

—資料により説明—

(安部委員長)

ただいまの説明に質問はありませんか。

—質問なし—

それでは、議案第21号、22号は承認することといたします。

続いて、報告第44号、仙北市教育行政報告について説明を求めます。

(畠山教育部長)

11月29日から開会予定の第8回市議会への教育に関する行政報告の案でございます。

—資料により説明—

(安部委員長)

ただいまの説明について、質問はありませんか。

私から、市内小中学校への地元産マイタケの提供についてですが、無償なのでしょうか。  
(田口教育教育次長兼教育総務課長)

無償ではなく買取りです。

(坂本委員)

行政報告と直接関係は無いのですが、新潮社記念文学館の富木友治展、たいへんいい展示をしていただきまして、本当にありがとうございました。地域の人に富木友治という人物を知っていただくいいチャンスになったと思いますし、ここからまたさらに調査、研究が進んでいけばありがたいと思います。見に行った時に気付いたことが2点ありまして、今展示されているもののパネルの隙間から他のパネルが見えていました。展示に関係ないものは、見えないような工夫ができないかということと、角館を舞台にした文学とかドラマの一覧がありました。だいぶ古い情報のようでしたので、何年かに1回更新できればと思いました。

(安部委員長)

ほかにありませんか。なければ、報告第44号は承認することといたします。

次に、報告第45号、区域外就学の同意について説明を求めます。

(田口教育次長兼教育総務課長)

報告第45号、区域外就学の同意についてご説明いたします。

—資料により説明—

(安部委員長)

ただいまの説明に質問はありませんか。

—質問なし—

それでは、報告第45号は承認することといたします。

次に、仙北市教育委員会委員長の選挙についてお願いします。

(朝水教育総務課参事)

仙北市教育委員会委員長の選挙についてご説明いたします。

—資料により説明—

(安部委員長)

選挙について無記名投票、若しくは指名推薦ということですがいかがでしょうか。

(坂本委員)

指名推薦でお願いします。

(安部委員長)

では、指名推薦ということですが。

(坂本委員)

今まで通りでお願いします。

(安部委員長)

たいへんありがたい話ではありますので、引き続き指名を受けて頑張らせていただきたいと思います。皆さんよろしくお願いします。

次に、仙北市教育委員会委員長職務代理者の指定について説明を求めます。

(朝水教育総務課参事)

まずはじめに、安部委員長さんには、再選ということでまたお願いいたします。任期は平成28年12月1日から平成29年11月30日までとなっておりますのでよろしくお願ひいたします。次に、委員長職務代理者の指定についてご説明いたします。

—資料により説明—

(安部委員長)

ただいま説明がありましたが、いかがいたしましょうか。

(坂本委員)

同じく指名をお願いします。

(安部委員長)

では、指名推薦ということですが。

(坂本委員)

同じく河原田委員をお願いします。

(安部委員長)

それでは、引き続き河原田委員に職務代理者をお願いします。

次は、いじめ、不登校対策について説明を求めます。

(田口教育次長兼教育総務課長)

浦山所長が出張ですので、代わって私から報告させていただきます。

10月のいじめ、不登校の状況についてご報告いたします。はじめに、いじめについては小学校7件、中学校2件、計9件の報告がありました。学年集会や学級指導、個別指導等を行い、すべて解消しておりますが、この後も注意深く観察し、情報を集めながら対応をしていくように、各学校には指示をしております。

次に、10月の不登校は、小学生3名、中学生13名、計16名で3名の増加となりました。現在、適応指導教室さくら教室を3名、スペース・イオ角館を4名が利用しております。この後も、児童・生徒が自分の良さを発揮して希望を持って生活できるように学校と連携をとって対策を進めていきたいと考えております。以上です。

(安部委員長)

いじめ、不登校対策について報告がありました。何か質問はありませんか。

私から質問と意見ですけれども、一つ目は、新聞等ではよくLINEでのいじめを聞きますが、仙北市ではどういう傾向にあるのかということと、もう一つは、次長が話した、これからもずっと自分の良さが発揮できるように学校で対応してくださるといことが非常に大事なことだと思いますし、いろいろな事情もあると思いますが、子ども自身が、自分がほかの人からいいところを認められているという状態が非常に大事なことだと思うので、今後もそういうことでお願いしたいと思います。

(田口教育次長兼教育総務課長)

事案の内容として主たるものではないのですが、事案の一部としてLINEが関連ありそうだという事案が一件ありました。それ以外にはございません。

(坂本委員)

小学生ですか。中学生ですか。

(田口教育次長兼教育総務課長)

中学生です。

(安部委員長)

ほかによろしいですか。では、引き続きご指導の方よろしくをお願いします。

次は、教育委員会定例会会議録のホームページ公開についてお願いします。

(朝水教育総務課参事)

お手元にございます、平成28年第11回仙北市教育委員会定例会会議録をご覧くださいと思います。ページに沿って説明いたします。

—資料により説明—

(安部委員長)

そのほかに何かありませんか。

(黒澤生涯学習長)

生涯学習課からですが、これは教育行政報告にあたるものになるかと思いますが、中川小学校支援地域本部の文部科学省の表彰が決まりました。11月15日付けで、文部科学省から中川小学校支援地域本部が、平成28年度の地域学校協働活動推進にかかる文部科学大臣表彰に決定したという通知をいただきました。この地域学校協働活動といいますのは、地域の住民の方の力を学校活動に活用しまして、子どもたちの周りを豊かにして地域と学校の活性化を図ることが目的でございますけれども、その一環として学校区ごとに地域で学校を支援する学校支援地域本部を設置できることになっております。仙北市では、平成22年度から中川小学校で、さらに平成24年度からは角館小学校が加わり、現在も支援本部の活動を行っております。活動内容としましては、学校と地域住民が連携しまして学習支援活動や子どもの安全確保、学校行事等の支援を行うものでございます。平成22年度から始まった中川小学校では、にこにこ米の栽培や販売、月1回のまなびい教室ですとか三省タイムでの民謡や手踊りの伝統芸能継承などの活動が行われておりました。年々活発化しております。その核となるコーディネーターの方々がいらっしゃいますけれどもそちらの充実が今回の表彰の評価につながったものと思っております。全国で135の活動がありまして、秋田県では中川小学校のほかに由利本荘市の矢島小学校と大館市の南中学校区の学校支援地域本部の団体が表彰されることになっております。12月8日に文科省で行われる表彰式には、中川小学校の齊藤校長先生とコーディネーターのお二人が出席する予定となっております。

(安部委員長)

おめでとうございます。

(畠山教育部長)

皆さんにプレス発表資料を差し上げておりますが、仙北市と青山学院大学が包括連携協定を締結するというので、教育委員会が担当になっておまして、来週の月曜日10時半から田沢湖庁舎で青山学院大学の学長、副学長、市長、副市長、議長、教育長も含めて連携協定を締結いたしますので、委員の皆さんも時間とタイミングが合いましたらご出席ください。

(安部委員長)

私から一つ説明をお願いしたいことがあります。先日の総合教育会議の時に文化財課の方から資料館にあるものを瀧分校に移設するというような話があつて、ちょっと違和感があつたのですが、その時の会議では主要議題から外れていたもので、質問しなかったのですが、そのへんについてお話しを伺いたいです。

(畠山教育部長)

郷土資料館に関してですが、いろいろな発掘品ですとかクニマス関係の収蔵品がありまして、今建設中のクニマス未来館が出来たらクニマス関係の資料は全部ではないかもしれませんがそこに移ります。郷土資料館はいずれ、解体、廃止の方向で検討を進めております。先月、残った収蔵品をどうしようかということや田沢小学校にある文化財課で前に発掘した土器、民具等の公開、瀧分校の活用などについて話し合いました。瀧分校に関しては、維持管理に経費がかかりますし、屋根、壁の修繕の必要が出てきているので、市の方に移管して管理していただけないかと地区から話がきています。そのことを含めて協議検討をしている最中です。

(田口教育次長兼教育総務課長)

瀧分校に展示するさまざまな道具類についてですが、小学校4年生の社会科の「昔の人の暮らし」という単元で昔の人たちが工夫して作った道具を見ながら、その時代の努力や工夫、そして時代を開いていった人たちの思いを学ぶという単元でございます。中学校の歴史的分野では、近世の農業の発達というところで、近世に入ってから使用されるようになった農機具がたくさん具体的な教材として出てきます。公民的分野の最初のところでは

高度成長期前後で家庭にある電気製品がどう変わったかという単元がありますが、いずれにしても今、学校でそういうものを見せようと思うと散在していますので、なかなか見せる機会がありません。潟分校でそういう学習教材としてそこに行けば見られる環境を作りながら、クニマス未来館に行った後、当該の学年の子どもたちが潟分校に行って、そこも見学するという一つのルートを作ることで、両方の施設の活用がさらに広がるのではないかとすることも考えて準備を進めているところでございます。

(安部委員長)

私の希望としてまず一つは、潟分校が市に移管された場合、ただ残ったものを並べるとかではなく、資料館としての位置付けを明確にして、子どもたちに昔の人の暮らしを実感できるようなきちんとした明確なコンセプトを持ったものを作っていただきたいということです。もう一つは、資料館に残っているものがまたさらに残ると思うのですが、今田沢小学校にあるものが、展示とはちょっと言い難い状況にあって、ただ置いているだけなので、それをどうするか、倉庫として使うのであれば倉庫らしく、そういうものを収納する場所として田沢小学校を活用するのであれば、それはそれでいいけれども今のままだとただ物を置いているだけなので、この話を進めるうえで構想の中には是非入れていただきたいという希望です。

(島山教育部長)

今、委員長が話したように田沢小学校に置いてあるのは、展示というよりも収蔵庫的な要素になっておりますので、流れに沿って見学できるようなレイアウトを工夫していかなければならないと思いますし、潟分校も観光的要素もあるけれども昔の古き良き学校ですので、クニマス資料館も含めて抱き合わせていきたいと思います。

(安部委員長)

私の希望としては、むしろ明確な収蔵庫としての機能の方がいいという気持ちはあります。あちこちにそういうものがあっても維持管理も大変だと思うので、例えば田沢湖にはクニマス未来館と潟分校、田沢には必要に応じて引き出すことができる収蔵庫という形がいいかなと思いました。これからそういう話し合いをする場があると思いますので、そこらへんも話し合っただけであればと思います。

ほかにごいませんか。

(坂本委員)

英検についてですが、10月の英検で、中学3年生は無料で全員受検したはずですが、3級以上で結構ですが、その結果が分かれば次回にでも教えていただければと思います。市の総合戦略の中にも英検に関する事業があったと思いますのでよろしくお願いします。

(朝水教育総務課参事)

12月の定例会につきまして、最終木曜日の12月22日午後2時から予定しております。

7 閉会宣言 平成28年11月21日 午後2時10分